

# ごあいさつ



代表取締役会長  
尾崎 裕

代表取締役社長  
本荘 武宏

## Commitment

### コミットメント

電力・ガス市場の小売全面自由化を成長の機会ととらえ、  
エネルギー事業の拡大へ取り組む。

お客さまや社会の様々なご要望にお応えする  
「総合エネルギー事業」へ進化する。

全てのステークホルダーの価値を最大化する。

このたび、アニュアルレポート2016を発行するにあたり、ステークホルダーの皆さまにご挨拶を申し上げます。

現在、中国経済の減速や原油価格の下落など、世界経済・社会情勢は不透明でかつ不確実になっており、将来の経営環境を見通すことが難しい状況が続いています。加えて、大阪ガスグループは電力・ガス市場の小売全面自由化という、大きな変化に直面しています。これらの経営環境の変化を成長の機会と捉え、事業を一層進化させることにより、持続的な成長を実現したいと考えております。

大阪ガスグループは、電力市場の小売全面自由化を契機に、家庭用を中心とした電力小売事業に参入しました。本年1月より受付を開始し、4月から混乱なくスムーズに供給を開始しています。2017年4月からはガス市場が小売全面自由化され、家庭用など小口市場を含めた競合が始まります。ガス・電力などのエネルギー供給、ガス機器・設備の販売に、お客さまの快適な暮らし・ビジネスに貢献する様々なサービスを組み合わせることで、お客さまに選ばれ続けることを目指します。

また、引き続き、国内エネルギー事業における分散型エネルギーシステムの普及拡大や高効率な新規電源の開発、海外エネルギー事業におけるアップストリーム・ダウンストリーム事業の推進・拡大、ライフ&ビジネスソリューション事業における成長市場での事業拡大などに取り組めます。お客さまへの最適なソリューションの提供、イノベーションの実現に向けた技術開発にも積極的に取り組むことで、競争力を高めたいと考えています。

2017年3月期は、2015年3月期から2017年3月期までの3か年を対象とする、中期経営計画「Catalyze Our Dreams」の最終年であるとともに、次期中期経営計画を策定する年でもあります。「Catalyze Our Dreams」で計画していた取り組みを着実に進めつつ、原油価格の下落や電力・ガス市場の小売全面自由化といった経営環境の変化を踏まえた次期中期経営計画を策定することにより、将来に向けた成長の道筋を示していきたいと考えています。

大阪ガスグループは、「暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループ」となることをめざし、「お客さま価値」の創造を第一に、これを「社会価値」「株主さま価値」「従業員価値」の創造につなげるよう、事業活動を進めていきます。

皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年7月

代表取締役会長

尾崎 裕

代表取締役社長

本庄武宏